

入田小学校  
「学力向上実行プラン」

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
  - ・書く場面、他者の意見を取り入れ自分の考えを深める場面
  - ・学びを振り返る場面の工夫
  - ・発問の工夫
- 自主学习ノートの工夫による家庭学習の充実

校長

大平 和哉

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書き、四則計算等の基礎的な力は概ね定着してきている。 ●個人差が大きく、基礎的事項が十分身につけていない児童もいる。 ●文章を正確に読み取る力や書く力が弱い児童もいる。	・基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、様々な学習場面で活かすことができる。 ・幅広い知識を自ら求める態度をもっている。	・朝のスタディタイムを有効に活用し、漢字、読解、作文、新聞の要約をする。また、算数の応用問題や文章問題等の力をつけるための学習を継続して取り組ませる。 ・優れた日記や作文を読んだり、掲示をしたりして、児童に紹介をする。また作文読本に投稿する。 ・デジタル教材や辞書を活用し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。また、自分の考えを積極的に発表できる児童が増えてきている。 ●場に応じて臨機応変に自分の考えを表現する力はまだ十分でない。 ●いくつかの資料から情報を選択し、筋道を立てて文章で表現したり、解決したりすることに課題がある。	・自分の考えを、根拠や理由を明らかにしながら表現することができる。 ・他者の意見を取り入れながら、根拠をもとに多面的・多角的な自分の意見を持てる。 ・資料からわかることを根拠にして、考えを表現する。	・ホワイトボードや付箋、タブレット等を用いて、考えや思いを述べたりする場面を増やす。 ・他者の考えを踏まえ、自分の考えを付け加えて話し合う活動を設定する。 ・多面的・多角的な考えが持てるように発問を工夫する。 ・視点を提示して、振り返ることができるようにする。 ・新聞からキーワードを見つけさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に、まじめに取り組むことができる。また、家庭学習にも主体的に取り組むことができる。 ●自ら課題を見つけ、主体的に取り組むことに課題がある。 ●不得意な学習内容に対して、計画的に取り組むことに課題がある。	・決められた学習や自主学习に主体的に取り組むことができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題の解決に生かすことができる。 ・既習の学習を生かし、他教科の学習や生活を関連づけることができる。	・「とくしま授業技術の基礎基本」にある、ノート指導を徹底するとともに、ノートには、自分の考えや気になること、先生の話で聞いたことなどを書く欄を設ける。 ・タブレット学習を活用して、主体的な学習への意欲を高めさせる。 ・各教科の関連事項を積極的に活用する。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

